

故郷で働ける、チャレンジできる「だからこそ、川本」創生事業

島根県川本町（島根県川本町）

コンソーシアム名	川本町ふるさとテレワーク推進コンソーシアム				
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	島根県川本町、有限会社Willさんいん、株式会社日本ワイドコミュニケーションズ、ビットスター株式会社、株式会社バリュープレス				
地方移動者数	従業員：3	個人：3	地元ワーカー数	従業員：1	個人：10
事業概要	遊休町有施設を活用しテレワーク拠点の環境整備を行い、都市部企業の進出を図るとともに進出企業と地元テレワーク人材の持続可能なコミュニティ形成を行うことで、人と仕事の流れを創出する。テレワークを活用した新しい働き方の普及促進により、働きたくとも様々な制約で働くことができない町民の就労機会創出とコンソーシアム参画企業の強みを活かした、これまでに無いICT産業の創出に取り組み、若者が故郷で働ける、チャレンジできる環境を整備することにより、喫緊の課題である人口減少の抑制と就業機会の創出を解決し、中国地方における過疎地域の成功モデルとなる「ふるさとテレワーク推進事業」を実現する。				

事業推進、地域経済循環の仕組みと仕事づくり

川本町



都市部企業
人と仕事の移動



(株)バリュープレス
東京

支援・連携

川本町テレワークセンター兼サテライトオフィス

テレワーク人材育成・業務開拓

- テレワーカー、マネージャー人材育成
- 都市部業務の開拓

バーチャルオフィス

- テレワーク業務管理システム

小さな起業・創業促進

- 個人・フリーランス身の文起業
- ローカルジャーナリスト育成
- ローカルプレス発信拠点

拠点運営、業務マネジメント
テレワーク人材育成

(有)Willさんいん
島根

都市部から長期派遣
サテライトオフィス利用

各社クリエイティブ
業務の発注

(株)日本ワイドコミュニケーションズ
東京、神奈川、三重、広島、島根、沖縄

ビットスター(株)
札幌、東京、大阪

故郷で働ける、チャレンジできる
多様な働き方の実現
新たな就労機会の向上



故郷で働ける、チャレンジできる「だからこそ、川本」創生事業

島根県川本町（島根県川本町）

■整備した拠点の概要

- **名称：かわもとテレワークスペース OTO-LaVo（オトラボ）** ■ 住所：島根県邑智郡川本町大字川下1222番地
- アクセス：出雲縁結び空港から車で約1時間30分、浜田自動車道「大朝」ICから車で約40分
- 利用対象者：都市部からの長期派遣社員及び移動者、地元雇用者、地元テレワーカー

<サテライトオフィス：収容人数6名>

■ 可能な業務

- ・都市部社員のテレワーク業務
- ・拠点管理業務
- ・打合せ会議等



※開発システム

「テレワーク業務効率化システム」による拠点全体の受注管理

<テレワークセンター：収容人数15名>

■ 可能な業務

- ・テレワーク業務
(Webライティング、データ入力、リサーチ、Webサイト制作 など)
- ・システム開発、画像編集業務
- ・打合せ会議等



※開発システム

「業務効率化システム」による個人ごとの受注管理

■整備完了後の取組内容の概要

■ 運営計画

コンソーシアム参画企業で連携し、都市部からの安定的な案件受注につながるよう取組を図るとともに、受注した案件を円滑にこなせるよう、ワーカーへの定期的な研修を実施し、ワーカーのスキルアップ（育成）を図る。加えて、行政でも町内へテレワークという新たな働き方が浸透するよう、テレワークの普及啓発支援を行うとともに、移住定住施策とも連携を図りながら、都市部からの地方移動を促進する。

■ 年度ごとの目標移動人数

	平成30年度	平成31年度	平成31年度以降
地方移動者(都市部社員含)	9名	12名	15名
地元ワーカー	20名	30名	40名

(参考①) 整備した拠点について

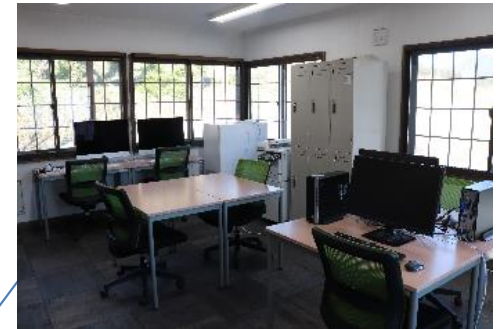
かわもとテレワークスペース OTO-LaVo (オトラボ)

改修した拠点は、本町が「音楽の里かわもと」をテーマに平成元年に建築し、現在は遊休となっていた宿泊型研修施設です。本事業を契機に新たにテレワーク拠点として生まれ変わり、時間や場所にとらわれない「多様な働き方」の象徴的な拠点として運営を行います。

人口減少抑止が喫緊の課題となっている中山間地域で、妊娠・子育て中、介護中、障がいを持つ方など、多様な方が働ける、活躍できる場として、また都市部からの移住・定住希望者の働く場（働き方）の提案の1つとして、本拠点を活用してテレワークの更なる普及発展に取り組みます。



<外観>



<サテライトオフィス>

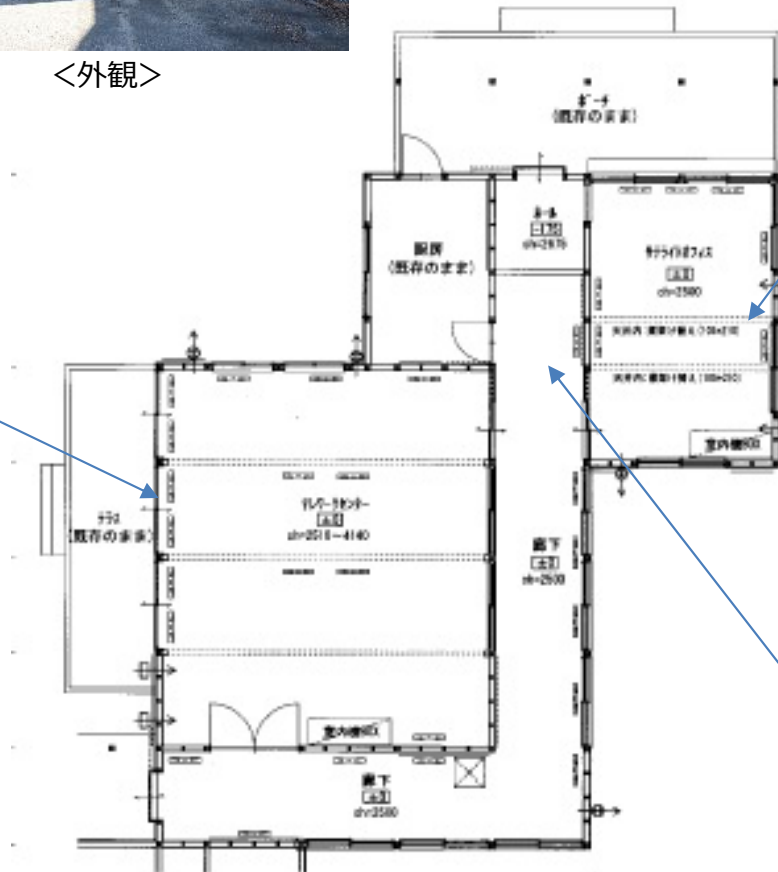


<テレワークセンター>

地元ワーカーが都市部から受注した業務をテレワークで行います。

【主な業務内容】

- Webライティング
- Webサイト制作
- システム開発
- データリサーチ
- データ入力
- アンケート集計 など



都市部企業の社員が自社の業務をテレワークで行います。また、拠点全般の管理運営を地元雇用者が行います

【主な業務内容】

- 都市部企業の自社業務
- 拠点全般の管理運営（入退室管理） など



(参考②) 整備完了後の取組内容について

拠点の運営計画

■ OTO-LaVoの運営・有限会社Willさんいん 【初年度】 (コンソーシアム参画企業)

地元採用者と本社からの長期移動者を中心に、テレワーク業務を地元ワーカーに発注。画像編集やWebライティングの仕事からスタートし、テレワーカーのスキルアップや円滑に業務のスタートが切れるようサポートを行います。

【2年目以降】

利用してもらえる場として、拠点の活用方法を提案するなど、利用者増加に繋がります。併せて、同様の課題を抱えるが、取り組みまで至っていない近隣地域からのワーカー登録・拠点利用などにもつなげて行きたいと考えています。

※3年間で30名の登録ワーカーと12名の地方移動者を目指します。

■ 「テレワーク」普及の支援・島根県川本町

テレワークが町内並びに近隣地域に普及浸透するよう支援を行います。

・テレワーカーの確保

(世帯の可処分所得向上、都市部からの移住)

・地域課題解決とのマッチング

(教育、農業、商工業 など)

主な仕事内容

- ① Webライティング
- ② Webサイト制作・運用代行
- ③ データ入力／アンケート集計
- ④ 画像加工・編集
- ⑤ 情報発信代行

※案件ごとに、ワーカーの適性あわせて、チームを編成し業務にあたる

【他地域との連携】

同様の形態でテレワーク事業を行っている他地域の拠点と繁閑調整（双方で人材と仕事をシェアする）を行い、継続的な業務運営を実現を目指します。（ex. Willさんいん隠岐オフィス、まちづくり新庄村 など）

拠点の運営による効果

■ 時間や場所にとらわれないテレワークにより、子育てや介護、病気療養中等、フルタイムで働く事が困難な方でも有効的に時間を使って働くことが可能となります。

また、ワーカーへのスキルアップセミナーを実施することで、本人の自信に繋がり、対応できる案件も増えると共に、拠点に集まることで、新たなコミュニティの醸成にもつながります。

■ 今まで町内になかったITを活用する事業を展開することで、中山間地域における仕事の多様性の創出や、UIターン者の確保など、定住促進にも繋がって行きたいと考えています。

■ 将来の地域を担う子どもたちへ、テレワークという働き方とITの可能性等を伝えて行くことで、地方での働き方を考えるきっかけを創りたいと考えています（次世代テレワーカーの育成）。

(参考②) 整備完了後の取組内容について

●テレワーク普及啓発シンポジウムの開催 H29.12.13実施



・約60名が参加
テレワークという働き方とその可能性について
理解をふかめた



●Webサイトを活用した情報発信

- ・テレワークセミナー等開催の告知・募集案内
- ・テレワークという働き方の周知等

●テレワーカー向け研修会の実施

②テレワーカー育成研修「『書く』を仕事に！～情報発信の基本を学ぼう～」を開催します！

講師にローカル・ジャーナリスト田中 輝美さんをお招きし、テレワーカーの仕事の一つ「書く」について学び、記事制作の仕事をする基礎を理解できます。私の伝えたい！を記事にできるようになる研修内容です。

日時 : 3月26日(月) 10時~12時
場所 : かわもとテレワークスペースOTO-LaVo (オトラボ) 邑智郡川本町大字川下1222番地 (旧 音楽研修棟)
参加費 : 無料
定員 : 10名 先着順
申込み : お電話、または、E-Mailにてお申込みください。定員になり次第、締め切りといたします。
締め切り : 3月22日(木) 17時

※この研修は2回セットの研修となります。
1回目受講後に宿題を出させていただきます。2回目の研修で持参していただきます。
2回目の日程は、参加者の皆さんと調整の上、決定いたします。

・定期的にテレワーカーの仕事に役立つ研修を開催する

●テレワークセミナーの開催 H30.2.5 H30.2.22 ※登録説明会

・約20名が参加
その内半数の10名がテレワーカー登録を行った

